

「JENESYS2.0」

中国経済界青年代表団

訪問日程 平成 25 年 9 月 12 日（木）～9 月 19 日（木）

1 プログラム概要

中国日本友好協会が派遣した中国経済界青年代表団計 30 名が、9 月 12 日から 9 月 19 日までの 7 泊 8 日の日程で来日しました。（団長：程海波（テイ・カイハ）中国日本友好協会友好交流部 部長）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、農業視察や企業訪問など交流の場を通じて、日本の青年や市民との親睦を深めるほか、日本の政治・経済・科学技術・社会・歴史・文化等が体感できるような施設や、地方都市の参観を通じて、クールジャパンに直接触れ、日本に対する包括的な理解を深めました。

2 日程

9 月 12 日（木）

成田国際空港より入国、皇居二重橋見学、オリエンテーション

9 月 13 日（金）

外務省訪問・農林水産省による講義、JA 東京あおば訪問・視察、歓迎会

9 月 14 日（土）

滋賀県へ移動、ヤンマーミュージアム視察

9 月 15 日（日）

近江八幡市 水荃干拓地区土地改良区視察、奈良県へ移動、東大寺見学

9 月 16 日（月）

点茶体験、元興寺・唐招提寺・法隆寺見学、大阪府へ移動

9 月 17 日（火）

大阪市中央卸売市場視察、大阪府政に関する講義

9 月 18 日（水）

イズミヤ八尾店訪問・視察、インスタントラーメン発明記念館視察、歓送報告会

9 月 19 日（木）

関西国際空港より帰国

3 写真

	
9月12日 皇居・二重橋を見学（東京都）	9月13日 外務省訪問・農林水産省による講義（東京都）
9月12日 参観皇居・二重橋(東京都)	9月13日 访问外务省, 农林水产省讲座（東京都）
	
9月13日 JA 東京あおば訪問・視察（東京都）	9月13日 歓迎会 川田勉 外務省アジア大洋州局 中国・モンゴル 第一課地域調整官の挨拶（東京都）
9月13日 访问考察 JA 东京青叶中心(東京都)	9月13日 欢迎会 外务省亚洲大洋州局 中国・ 蒙古第一课川田 勉 地域调整官致辞（東京都）
	
9月13日 歓迎会 日本側出席者と団員（東京都）	9月13日 歓迎会 武田日中友好会館理事長 (左2)、程団長(右2)、孫中国大使館一等書記官 (左1)、川田地域調整官(右1)（東京都）
9月13日 欢迎会 日方出席人员与团员畅谈 （東京都）	9月13日 欢迎会 日中友好会館武田理事長， 程团长，中国大使馆孙一等书记官， 川田地域调整官 畅谈（東京都）

	
9月14日 ヤンマーミュージアム視察 (滋賀県)	9月15日 水茎干拓地区土地改良区 視察 (滋賀県)
9月14日 考察洋馬农机博物馆(滋賀县)	9月15日 考察水茎排水开垦土地改良区 (滋賀县)
	
9月15日 水茎干拓地区土地改良区 視察 (滋賀県)	9月15日 東大寺見学(奈良県)
9月15日 考察水茎排水开垦土地改良区 (滋賀县)	9月15日 参观东大寺(奈良县)
	
9月16日 点茶体験(奈良県)	9月16日 元興寺見学(奈良県)
9月16日 体験日本茶道(奈良县)	9月16日 参观元兴寺(奈良县)

	
9月16日 唐招提寺見学（奈良県）	9月16日 法隆寺見学（奈良県）
9月16日 参观唐招提寺（奈良县）	9月16日 参观法隆寺（奈良县）
	
9月17日 大阪市中央卸売市場視察（大阪府）	9月17日 大阪府政(国際観光施策)の説明（大阪府）
9月17日 考察大阪市中央批发市场（大阪府）	9月17日 大阪府講座（国际观光政策）（大阪府）
	
9月18日 イズミヤ八尾店訪問・視察（大阪府）	9月18日 インスタントラーメン発明記念館視察（大阪府）
9月18日 参观 IZUMIYA（泉屋）八尾店（大阪府）	9月18日 考察方便面发明纪念馆（大阪府）

	
9月18日 歓送報告会 程海波団長の挨拶 (大阪府)	9月18日 歓送報告会 訪日成果報告 (大阪府)
9月18日 欢送报告会 程海波团长致辞 (大阪府)	9月18日 欢送报告会 访日成果汇报 (大阪府)

4 参加者の感想（抜粋）

- 私は農産物貿易の仕事に携わっていますが、来日前は日本の農業と食品の状況についてあまり把握していませんでした。今回の訪日を通じて、日本経済・農業・食品の各分野を深く知ることができました。土地開拓から農産物の栽培・加工と、卸売業者から中間業者・商店・消費者の食卓までの、すべての流通過程の各部分を、深く理解することができました。

今後仕事をしていくなかで、私が見た本当の日本を、会員企業や身近な友人へ伝え、皆に日本の文化や農業、美味しく上質な食品を知ってもらい、中日関係や貿易、経済発展を促進するため、より多くの貢献をしていきたいと思っています。

- 活動に参加する前は、テレビ・ネット・新聞等を通じて、一部の日本経済・政治・文化等について知っていただけでしたが、多かれ少なかれ日本に対する偏見を持っていて、友人達にも偏見がありました。今回の訪問を通じて、大変多くの感銘を受けました。

まず、外務省と農林水産省のセミナー、農協の説明、奈良視察、水茎干拓土地改良区の農作物栽培状況の視察を通じて、日本の土地面積は比較的狭く、自然災害も多いけれど、日本人はさまざまな方法で、生産効率と品質を高め、限り有る土地資源を有効利用し、良質な農産物を作り出しています。日本が農業を重視する程度には、深く感動させられました。そして、いくつかの名所見学を通して、日本の歴史を深く理解し、日本人との交流から、日本人のおもてなしの心を感じられました。また、大阪市中央卸売市場の視察を通じて、農産物流通の全工程を体験することができ、農産物の流通工程が効率的かつ迅速であると感じました。それから、ヤンマーミュージアムとインスタントラーメン発明記念館の参観を通じて、日本工業の高度発展とその歴史を理解し、日本人の創造能力を知ることができました。

帰国後、友人達に、日本人のおもてなしの心や、良好な環境保全、日本人の危機意識の高さ、クリエイティブ能力を伝えたいと思います。

- 今回の訪問を通じて、私は「三つの心」と「三つの度」を会得しました。

一つ目は「細心」、全行程において、中日友好協会と日中友好会館の職員は、各部分に細かで行き届いた手配をしてくれました。道路を渡る時や、高速道路上での安全注意など、彼らの細かい対応が、今回の活動の見事な成功に欠かせませんでした。二つ目は「熱心」、各訪問機関は、私たちへの内容紹介・学習材料・飲み物などの準備を心を込めて行ってくれ、行き届いた親切なサービスが訪問時の心地よい環境をつくり出してくれました。三つ目は「愉快的心」、団員同士はとても仲良く、皆楽しく共に行動していました。困ったことがあったら互いに助け合い、彼らが昨日会ったばかりではなく、長年の友人のように感じられました。歓送会で誕生日のお祝いがあり、私の誕生日ではなかったのですが、心から感動しました。ここに感謝の意を表します。

日本農業の視察では、「三つの度」を会得しました。

一つ目は「態度」、日本の「主体率先方式」の農業問題への対応形式は、逃げ出さない態度を反映しています。二つ目は「維度(ディメンション)」、日本は農業に対して食糧の満足だけではなく、農耕文化の継承・農業アート・農業レジャー・農業防災など、あらゆる次元から出発して、農業について思考をしています。この多次元から農業を発展させる形式は、ある種斬新な方向性を示していると思います。三つ目は「広度(幅)」、中国は世界最多の農民人口を有し、農家の人達の生活を快適にすることは農業分野の重要課題です。日本の農協は農家に対し、生産から生活、栽培から生産加工・販売の指導までと、幅広いサービスを行っていて、中国の農協に新たな考え方を提供しています。

○ 中国国内のテレビドラマ、映画、一部の報道では、日本に対し多少偏見がありますが、政治的な方面を離れて考えると、中日両国民は善良で、もてなし好きです。経済、文化、科学技術など、今回の活動を通じて、物事の見方が大きく変わりました。

まず経済面について、JAを視察し、深く感銘を受けました。生産者が栽培した野菜や果物を店に出し、価格も生産者自身が設定し、生産者の写真も添付しており、このような農業経済モデルは、考えたこともありませんでした。また、大阪市中央卸売市場で場内を視察した際、幸運にも、野菜や果物の競りを目の当たりにすることができました。このような工程は初めて見ましたが、中国国内では不要か、時間がかかり過ぎるのかと思います。しかし、この価格設定方法は市場に適していて、上部の影響を受けずに民意で価格設定すると、大衆に受け入れられる価格に最も近くなると思います。

次に文化面について、日本の文化遺産の保護は完璧であると感じました。東大寺を見学して、文物の保護が素晴らしく、周辺の産業チェーンも整っており、私のような買い物が好きでない人でも、思わず数千円の記念品を購入してしまいました。

そして科学技術面について、最も印象深かったのはヤンマーミュージアムの視察です。館内には多数の切断機の模型があり、その構造原理が見て取れました。また大勢の子供達も来館し参観していることに気づきました。これらの模型は操作しやすく、スイッチをいくつか押すと、機械の運転や輸送機能をはっきりと見る事ができました。館内にミニショベルを体験するコーナーがあり、子供や若者の、農機への興味を高め、幼い頃から国土資源を持続発展させるための意識を育てているように感じられました。

訪日の最終日になってもまだ飽き足らず、和服や伝統音楽に対しても非常に興味があります。今回の訪問では、農村部へ行き、日本の科学的な栽培を体験してみたいです。

○ 今回の訪問では、思考・回想をする価値のあることが沢山ありました。

まず日本の環境は、空気の状態が非常に良く、特有の気候によるところもありますが、日本の環境保護方面の措置が、その主な要因となっています。また、日本人の一般的教養の高さを直接知ることができました。みな誠実で礼儀正しく、各種の法律及び規律を遵守していて、これらは、人間関係さらには社会の活動効率向上に、決定的な作用をもっています。そして、日本の公共交通機関が印象深く、特に地下鉄は進んでいて、路線が密集しており、効率の良い交通は人々の生活を便利にし、エネルギーを節約し、排出ガスを低減させています。それから、人々の愛国精神と危機意識に感動しました。これもきっと、国家自強の根本的なパワーの一つでしょう。人々がみな、国家と国民の未来を考え、国の未来のために努力を惜しみません。日本人を尊敬します。更に、日本人の友好的なところが深く身に染みしました。この中日関係が緊張している時に、日本側は今回の活動を重視し、日本が中日関係を重視していることと、今後の中日関係の未来への期待を、身をもって表しており、私たちは感慨深く感じました。政治的な方面を離れて、両国民の友好交流を深めることは、中日関係を促進し、協力を深める重要なポイントとなります。

数日間の訪問は、きっと生涯、私達の仕事や生活に、大きな影響を与えるでしょう。私達は、自分達が感じたことを周囲の人たちへ伝え、彼らにも本当の日本と日本人の姿を感じに来てもらい、偏見をなくし、お互いに信頼し、協力し、中日関係の未来と、両国民の友情のために、共に努力したいと思います。

最後に、今回の活動に多大な尽力をした日本側の皆さんに感謝します。皆さんの努力に感謝すると共に、皆さんの訪中を歓迎し、また多くの日本人が中国を訪れ、中国を知り、中国を感じていただきたいと思います。